

様式第12号（第56条、第63条、第80条関係）

車両・船舶・航空機り災申告書				
(宛先) 埼玉西部消防組合消防長				① 年 月 日
り災場所		③		
り災年月日		④ 年 月 日		り災物件と申告者の関係 ⑤ <input type="checkbox"/> 占有 <input type="checkbox"/> 管理 <input type="checkbox"/> 所有
車    両	運転者氏名	⑥	生年月日	⑥ 年 月 日
	車両名称	⑦	購入年月日	⑩
	用途別	⑧	取得価格	⑪
	車両番号	⑨	年 式	⑫
	焼けた箇所	消火のため水汚損した箇所		その他
	⑬	⑭		⑮
船舶・航空機	船長・機長名		生年月日	年 月 日
	船名・機名		購入年月日	
	用途・機種		取得価格	
	トン数		就航年月	
	焼けた箇所	消火のため水汚損した箇所		その他
積載物	焼けた物件	消火のため水汚損した物件		その他
	り災物件との関係	所有者・管理者氏名		⑯
	火災保険	契 約 会 社 名	契 約 年 月	保 険 金 額
		⑰		
備考 1 この申告書は、消防法第34条に基づき提出を求めるものです。 2 この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。 3 用途別の欄には、乗用車、貨物自動車、タクシー、乗合バスなどの別を記入してください。 4 積載物の欄には、損害を受けた物の品名と取得価格及び経過年数を記入し、また、申告者と積載物の所有者等が異なる場合にのみ氏名を記入してください。 5 火災保険の欄には、車両火災の場合は当該車両が車両保険に加入しているとき又は積載物が火災保険に加入しているときに記入してください。				受 付 欄

[車両・船舶・航空機り災申告書の記入要領]

項目	記入要領
① 年月日	消防署に提出する年月日(和暦又は西暦どちらでも可)を記入します。
② 申告者	火災となった物件の所有者の氏名を記入します。 ただし、所有者以外の方が実際に物件の情報を保有、管理している場合には、その方の氏名でも差支えありません。
③ り災場所	現にり災した場所の所在地を記入してください。
④ り災年月日	火災によってり災した年月日を記入してください。
⑤ り災物件と申告者の関係	該当する項目いずれか一つを選択し、□印にレを記入します。
⑥ 運転者氏名・生年月日	運行中に火災となった場合、出火時に現に運転していた方の氏名、生年月日を記入してください。 運行中でない場合は記入不要です。
⑦ 車両名称	「トヨタ クラウン」、「日産 スカイライン」、「ホンダ シビック」などの商品名を記入してください。
⑧ 用途別	備考欄3の説明に基づいて記入してください。
⑨ 車両番号	自動車検査証に記入されている車両番号(ナンバー)を記入してください。
⑩ 購入年月日	中古購入の場合は、中古車として購入した年月日を記入してください。
⑪ 取得価格	中古購入の場合は、中古車として購入した価格を記入してください。
⑫ 年式	自動車検査証に記入されている初度登録年月(初度検査年月)を記入してください。 不明な場合は「不明」と記入してください。
⑬ 焼けた箇所	「エンジンルーム内」、「車室内」、「車両外周」など、おおまかな部分を記入してください。
⑭ 消火のため水汚損した箇所	初期消火または消防隊の活動により汚損し、機能喪失、修理、交換等が必要となった部分について記入してください。
⑮ その他	焼損及び消火による汚損以外で、当該火災により機能喪失、修理、交換等が必要となった部分について記入してください。
⑯ 積載物の所有者等	車両の所有者等と積載物の所有者等が異なる場合に記入してください。
⑰ 火災保険	備考欄5の説明に基づいて記入してください。